1級製図試験【R6大学の試験（予測課題の検証）】2024年10月18日

研究会の予測課題は80％以上的中した
特に予測課題3は試験内容に酷似した

【令和6年度　設計課題：大学】　2024.10.18

本試験課題と予測課題との比較検証

- 本試験の課題内容と研究会の予測3課題との比較検証について、図面は表1に、計画の要点等は表2に示す。
- 表1に示すように、図面で予測できなかったのは、製図室です。ただし、名称は違うが他室があり応用で書けます。
  特に予測課題3は、階数自由、床面積指定なし、敷地は段床形式、免震構造、道路斜線の全てにおいて的中した。
  更に、今年は7×7スパンの単純書き演しとして50㎡以上指定が出たが、それは予測課題2での50㎡以上と同じであった。
- 表2に示すように、計画の要点等で予測できなかったのは、(1)の一部、(6)ですが、(1)は動線計画等を応用で、(6)屋上設備はR5と同じ問題なので研究会のR5解答を見ていればその主主書けます。その他(2)～(5)は予測課題と全く同じ内容であった。
- 表1と表2からも明らかなように、研究会の予測3課題は、80％以上的中したと判断できます。

表1　各予測課題の比較一覧表　　は類似内容　　は異なる内容

各社	課題名	敷地	建物	階数	高さ	面積	道路	北	東	南	西	要求室	共通部	玄関	廊下	ラウンジ	駐車場	事務室	会議室	講堂	食堂	厨房	倉庫	特殊	屋上設備	備考	備考
本試験	H6課題	1,800	48	36	自由	無し	～	無し	道路	道路	道路	道路	3,000㎡	天井高さ 7.5m 間口 8m	8m 1列	100㎡	必要	駐車場 B1F 100㎡	8.0㎡	必要	必要	必要	必要	倉庫 必要	電気室	無し	敷地内外、地表面指定なし、建築は段床形式、外部倉庫、自転車置場、ロッカー室
研究会	予測課題1	1,720	48	36	7階	7,200	～	7,200	道路	道路	道路	道路		天井高さ 7.5m 間口 8m 奥行 8m	20㎡ 1列		10㎡		8.0㎡		必要	必要	必要	レストラン	自家発電	有り	有り	アトリエ、ガスルーム、ギャレー、ギャレーパントリー、B1F倉庫、自転車置場、ロッカー室
	予測課題2	1,800	50	37	3階	1,500	～	2,250	道路	道路	道路	道路		天井高さ 7.5m 間口 8m 奥行 8m	20㎡ 1列	50㎡		必要 50㎡	8.0㎡		必要	必要	8.0㎡	ルーフテラス 20㎡	倉庫 50㎡	自家発電	有り	有り	敷地内外、地表面指定なし、建築は段床形式、外部倉庫、自転車置場、ロッカー室、B1F倉庫、屋上ルーフテラス、ロッカー室は無しとする。
	予測課題3	1,700	51	50	自由	無し	～	無し	道路	道路	道路	道路	3,500㎡	天井高さ 7.5m 間口 8m 奥行 8m	20㎡ 2列	50㎡	30㎡ 30㎡	必要 100㎡	8.0㎡	必要	必要	1.0㎡	必要 50㎡	倉庫 30㎡	電気室 屋上ヘリ	無し	敷地内外、地表面指定なし、建築は段床形式、外部倉庫、自転車置場、ロッカー室、B1F倉庫、屋上ヘリポート、B1F倉庫は必要無し

表2　課題（計画の要点等）の比較検証　　赤字は推定できた、青字は推定できなかった

	本試験の課題内容	研究会（計画の要点等まとめ）
（1）	施設の機能構成、配置・動線計画等について①～④の観点から配置 ①建築物の各材料、②セキュリティ、③多様性への配慮、④全体の場	セキュリティは、まとめの「計画3セキュリティ」で解答可能。他は回答としてはないが、まとめの敷地計画等の内容を応用すれば解答可能
（2）	基礎免震構造の外周部のクリアランスの考え方及び安全性について考慮	まとめの「構造10免震構造」をそのまま書けば解答可能
（3）	講堂の天井等落下防止対策について考慮したこと	等まとめの「構造7高天井の天井等落下防止対策」をそのまま書けば解答可能
（4）	学生・教職員の福利厚生のための一時滞在に必要な給排水衛生設備、その熱計画	まとめの「設備4地震災害の対応」をそのまま書けば解答
（5）	講堂に採用した空調方式と、採用した理由及び配慮したこと	まとめの「設備6大講堂の空調方式」をそのまま書けば解答
（6）	屋上等に設置する①～④の設備の配置と配管とした理由など計画の考慮 ①太陽光パネル、②キュービクル、③設備配管取出し口、④空調室外機等	まとめでは書いてませんが、R5の回答と全くほぼにであり、研究会のR5記述解答を見ると解答可能

建築資格研究会：www.kenchiku-shikaku.net

R6大学の試験課題に対する研究会の予測課題の検証について解説します。
結論として研究会の3課題は、試験課題の80％以上的中したと言えます。
今年は、予測課題3がほぼ試験課題に酷似した内容でした。

作図課題の検証

作図課題は、表1の通り図面で予測できなかったのは、製図室だけです。
特に予測課題3は、階数自由、床面積指定なし、講堂は段床形式、免震構造、道路斜線の全てにおいて的中しました。
今年は7×7スパンの単純書き潰しの50㎡以上指定があるが、それは予測課題2の50㎡以上と同じであった（室名は違うが50㎡以上3室、100㎡以上1室も同じ）。

表1 各予測課題の比較一覧表　　は類似内容　　は異なる内容

各社	課題名	建築敷地			階数	指定床面積		面前道路の条件				要求室											駐車場		備考
		隣棟	横	縦	階	以上～以下		東	西	南	北	教育部門					共通管理部門				設備	他施設			
		(㎡)	(m)	(m)		(㎡)～(㎡)						大講堂	教室	研究室	図書資料	ラウンジ	事務室	会議(応接)	ゴミ室	食堂 カフェ	室他	設備指定条件等		(台)	
本試験	R6課題	1,600	48	35	自由	無し ～ 無し		道路	道路	隣地	隣地	300㎡	大80人 中50人	50㎡ 計10室	100㎡	通路	個室 計1700㎡	50㎡	通路	通路	50㎡	機器 通路	受水槽、消火ポンプ、屋上設備	屋上階	機1	階数自由、床面積指定なし、講堂は段床形式、免震構造、道路斜線、50㎡以上
研究会	予測課題1	1,728	48	36	3階	7,200 ～ 7,800		隣地	隣地	道路	道路		大160㎡ 中80㎡ 小40㎡	20㎡ 10室		40㎡		6人	通路	通路	レストラン		地下へ受水槽室、消火ポンプ室、不活性ガス設備室、屋上設備	屋外テ	機1 サ1	アトリム、エスカレーター、キャンパス敷地、B1設備立体駐車、GL-20mH10
	予測課題2	1,850	50	37	3階	1,800 ～ 2,200		隣地	隣地	隣地	道路		大120㎡ 中60㎡ 小40㎡	25㎡ 10室	50㎡		共用 50㎡	6人		8㎡	カフェ 20人	機器 50㎡	設備スペース	屋外立 機広場	機1 サ1	勾配敷地勾配屋根、車回し車寄せ、隣地配車動線、B1平面図、耐力壁、部門指定なし、全面階13m以上、50㎡以上
	予測課題3	1,700	34	50	自由	無し ～ 無し		隣地 市敷地	隣地 市敷地	隣地 市敷地	道路	300㎡	大80㎡ 中50㎡ 小30㎡	25㎡ 6室	50㎡	30㎡ 40㎡	生涯 100㎡	8人	通路	10㎡	食堂 50人	機器 30㎡	受水槽、消火ポンプ室、屋上設備	屋上階 屋上テ	無し	階数自由、床面積指定なし、大講堂は段床形式、免震構造、吹抜エスカレーター、道路斜線と北敷地線

作図課題は、表１の通り図面で予測できなかったのは、製図室だけです。
ただし、製図室ではないが、共同学習室など他の名称での学習室があり、ここは問題なく書けたと判断します。
予測課題３は、階数自由、床面積指定なし、講堂は段床形式、免震構造、道路斜線の全てにおいて一致しており、ほぼ完璧に的中したと言えます。
研究会は、今年７×７スパンの単純書き潰しとして50㎡以上指定がでるのではと判断して予測課題２に組み込みました。
試験では、50㎡以上が３室、100㎡以上が１室あり、室名は違うが予測課題２でも50㎡以上３室、100㎡以上１室と偶然にも、その数まで同じでした。

記述課題の検証

表2に示すように計画の要点等で予測できなかったのは、(1)の一部、(6)です。
ただし、(1)は動線計画等を応用で、(6)屋上設備はR5と同じ問題なので研究会のR5解答を見ていればそのまま書けます。
その他(2)～(5)は予測課題と全く同じ内容であったので、研究会の「計画の要点等まとめ」を見た方は、速攻で書き上げることができました。

表2 課題(計画の要点等)の比較検証　　赤字は推定できた、青字は推定できなかった

	本試験の課題内容	研究会(計画の要点等まとめ)
(1)	施設の機能構成、配置・動線計画等について①～④の観点から配慮 ①建築物の教材化、② セキュリティ、③多様性への配慮、④交流の場	セキュリティは、まとめの「計画3セキュリティ」で解答可能、他は問題としてはないが、まとめの動線計画等の内容を応用すれば解答可能
(2)	基礎免震構造の外周部のクリアランスの考え方及び安全性について考慮	まとめの「構造10免震構造」をそのまま書けば解答可能
(3)	講堂の天井等落下防止対策について考慮したこと	等まとめの「構造7高天井の天井等落下防止対策」をそのまま書けば解答可能
(4)	学生・教職員の帰宅困難者の一時滞在に必要な給排水衛生設備、その他計画	まとめの「設備4地震災害の対応」をそのまま書けば解答
(5)	講堂に採用した空調方式と、採用した理由及び配慮したこと	まとめの「設備6大講堂の空調方式」をそのまま書けば解答
(6)	屋上等に設置する①～④の設備の配置と配管とした理由など計画の考慮 ①太陽光パネル、②キュービクル、③設備配管取出し口、④空調室外機等	まとめでは書いてませんが、R5の問題と全く同じであり、研究会のR5記述解答を見ると解答可能

表2に示すように計画の要点等で予測できなかったのは、(1)の一部、(6)です。
ただし、(1)は動線計画等を応用することで、(6)の屋上設備はR5と同じ問題なので、研究会のR5解答を見ていればそのまま書けます。
その他(2)～(5)は予測課題と全く同じ内容であったので、研究会の「計画の要点等まとめ」を見た方は、速攻で書き上げることができました。

検証まとめ

表1及び表2から判断できるように研究会の予測課題は、80%以上的中したと判断できます。

【令和6年度　設計課題：大学】　　2024.10.18

本試験課題と予測課題との比較検証

- 本試験の課題内容と研究会の予測3課題との比較検証について、図面は表1に、計画の要点等は表2に示す。
- 表1に示すように、図面で予測できなかったのは、製図室です。ただし、名称は違うが他室があり応用で書けます。
  特に予測課題3は、階数自由、床面積指定なし、講堂は段床形式、免震構造、道路斜線の全てにおいて的中した。
  更に、今年は7×7スパンの単純書き潰しとして50㎡以上指定が出たが、それは予測課題2での50㎡以上と同じであった。
- 表2に示すように、計画の要点等で予測できなかったのは、(1)の一部、(6)ですが、(1)は動線計画等を応用で、(6)屋上設備はR5と同じ問題なので研究会のR5解答を見ていればそのまま書けます。その他(2)～(5)は予測課題と全く同じ内容であった。
- 表1と表2からも明らかなように、研究会の予測3課題は、80%以上的中したと判断できます。

表1　各予測課題の比較一覧表　　は類似内容　　は異なる内容

各社	課題名	敷地面積	建ぺい率	容積率	階数	指定記載事項	要求室の条件				要求室													備考
		(㎡)	(%)	(%)	(階)	(㎡)～(㎡)	音	消	弾	火	木構造	教室	研究室	実験室	多機能室	教職員	多機能室	ゴミ室	食堂 カフェ	倉庫	設備設置条件等	外周路	駐車場 (台)	
本試験	R6課題	1,000	60	35	平屋	無し ～ 無し	必要	必要	無効	無効	300㎡	実30人 中50人 計110室	50㎡ 計10室	100㎡	必要	製図 計1,200㎡	50㎡	必要	必要	50㎡	要品 必要	要水槽、消火ポンプ、屋上設備	屋上階	無し
研究会	予測課題1	1,700	60	30	7階	7,000 ～ 7,000	無効	無効	必要	必要		実100㎡ 中50㎡ 小40㎡	20㎡ 10室		10㎡		6人	必要	必要	レストラン		地下へ雨水槽室、消火ポンプ室、可搬ポンプ設置室、屋上設備	屋外下	無し 中
	予測課題2	1,000	50	27	2階	1,000 ～ 2,000	無効	無効	無効	必要		実120㎡ 中50㎡ 小40㎡	20㎡ 10室	50㎡		必要 50㎡	6人		6㎡	カフェ 30人	要品 50㎡	仕事スペース	屋外広 駐広場	無し 中
	予測課題3	1,700	60	50	平屋	無し ～ 無し	無効 max	無効 max	無効 max	必要	300㎡	実50㎡ 中50㎡ 小30㎡	20㎡ 6室	50㎡	30㎡ 10㎡	必要 100㎡	6人	必要	10㎡	食堂 30人	要品 30㎡	要水槽、消火ポンプ室、屋上設備	屋上屋 屋上下	無し

表2　課題（計画の要点等）の比較検証　　赤字は推定できた、青字は推定できなかった

	本試験の課題内容	研究会（計画の要点等まとめ）
(1)	施設の機能構成、配置・動線計画等について①～④の観点から配慮 ①建築物の教材化、② セキュリティ、③多様性への配慮、④交流の場	セキュリティは、まとめの1「計画3セキュリティ」で解答可能、他は問題としてはないが、まとめの動線計画等の内容を応用すれば解答可能
(2)	基礎免震構造の外周部のクリアランスの考え方及び安全性について考慮	まとめの1「構造10免震構造」をそのまま書けば解答可能
(3)	講堂の天井等落下防止対策について考慮したこと	等まとめの1「構造7高天井の天井等落下防止対策」をそのまま書けば解答可能
(4)	学生・教職員の帰宅困難者の一時滞在に必要な給排水衛生設備、その他計画	まとめの1「設備4地震災害の対応」をそのまま書けば解答
(5)	講堂に採用した空調方式と、採用した理由及び配慮したこと	まとめの1「設備6大講堂の空調方式」をそのまま書けば解答
(6)	屋上等に設置する①～④の設備の配置と配管とした理由など計画の考慮 ①太陽光パネル、②キュービクル、③設備配管取出し口、④空調室外機等	まとめでは書いてませんが、R5の問題と全く同じであり、研究会のR5記述解答を見ると解答可能

表１及び表２から判断できるように研究会の予測課題は、80％以上的中したと判断できます。

以上で、R6大学の試験（予測課題の検証）の解説を終了します。

なお、明日は、多くの方から質問がありましたが、「試験課題の採光」について解説します。